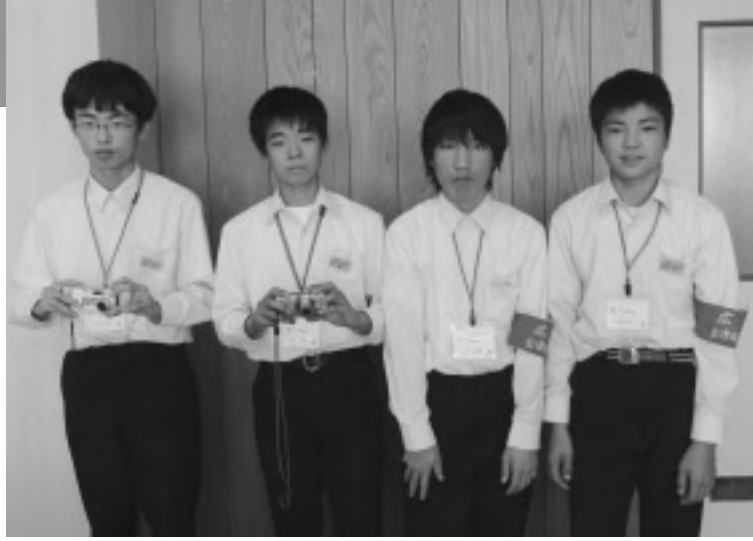
職場体験で
中学生記者に



写真右から　湯浅 裕一さん、宇内 舜騎さん、
林　貴之さん、福地 智英さん

明るい幼稚園

幼稚園の約束

・明るく元気な子供
・やさしい子供(思いやり)
・友達と仲良く遊べる子供
・自分のことは自分でできる子供

幼稚園の子供たちはこのようなことを守りながら幼稚園に通っています。

僕たちは、９月１６日に体験学習で、役場に行ってきました。最初に幼稚園に行きました。取材をしました。それを広報にしました。

運動会のインタビュー

先生たちは10月10日の幼稚園の運動会のことで忙しいです。運動会でやる種目は、障害物レース、かけっこ、踊り、ちなみに年少と年長の走る距離は違うそうです。運動会があるので一生懸命に練習をしていました。

幼稚園に行った感想

湯浅裕一
…幼稚園生たちは明るく元気なところがすごいなと思いました。

福地智英
…子供同士の遊びや、友情等を見ることができて良い経験になりました。

みんなにアンケート！

幼稚園の遊び方

幼稚園で楽しい遊びは何ですか？
８人に聞きました。

鉄棒は　１人
ブランコは　２人
お絵かきは　２人
縄跳びは　１人
跳び箱は　２人
でした。

幼稚園は遊ぶことも大切ですが、教室でも体操などもしています。

9月16日・17日の2日間、町内の事業所の協力、支援のもと第一中学校の二年生が職場体験を実施しました。

会津坂下町役場には4名が訪れ、坂下幼稚園に取材に行き、写真を撮影したり、インタビューをしたりと、広報紙の作成などを体験しました。

慣れない作業に緊張しながらも、二人一組で2日間かけて原稿を完成させました。

中学生が制作した原稿を紹介します。

幼稚園での取材の様子

元気な幼稚園

9月16日（水）に、職業体験で、幼稚園に取材に行ってきました。

年長さんは、校庭で運動会の練習を一生懸命がんばって走っていました。年少さんはそのころ楽しそうに遊んでいました。外には、砂遊びで遊んでいる人も、ブランコなどの遊具で楽しそうに遊ぶ人もいました。

屋内に入ってみると鈴虫がいて、鈴虫のようにとても元気な子供たちがいて、私達がカメラを持っていると、子供たちから、「カメラマン」「カメラおじさん」といわれて逃げられました。でも、ちゃんと屋内で遊んでいる様子を撮影できました。広場でフラフープで遊んでいたり、ボールで遊んでいました。教室でお絵かきをして遊んでいる人もいました。

坂下幼稚園の先生にインタビュー

Q幼稚園の仕事をやっていて一番大変なことはなんですか？

A子供の生活リズムを整えることが大変です。

Qこの仕事をやっていてやりがいがあると感じるときはどのようなときですか？

A子供の成長を見れることと、大きくなっても先生のことを覚えてくれることです。

Q幼稚園には子供が全部で何人いますか？

A全部で136人います。

取材をしてみた感想

はじめは、坂下幼稚園に取材に行くといって、どういうことをやるのかと少し心配でしたが、結構うまくいきました。

坂下幼稚園に取材にきて最初に見えたのは、校庭で運動会の練習をやっている年長さんでした。私は写真で写そうとしましたが、あまりうまい写真が取れませんでした。

次に、坂下幼稚園の方に行きました。外には、年少さんが、元気に遊んでいました。

こちらの人は、カメラを持って撮影しても、写させてくれました。でも、幼稚園の中に入ると、撮影しようとしたら、「カメラマンだ。」なんていわれて逃げられてしまいました。

園児はとても元気でその元気さで、緊張がやわらぎました。先生に質問をするのもスムーズにいってよかったと思います。

宇内　舜騎
林　貴之

島津邸での御前(大正天皇)製作時の
板谷夫妻　大正６年(1917)

世界的陶芸家 板谷波山(いたや　はざん)と その妻 まる

会津坂下町出身で、会津女子職業学校を創設し近代陶芸界にも貢献した「板谷まる」を紹介します。

まるは芯が強く、多少のことではくよくよしないで猛進する楽天的な性格でした。陶芸家板谷波山を支え、成功に導いたのは、まるのそんな性格からだったのかもしれません…。

一八七〇（明治三）年、仲町の呉服商鈴木作平の三女として生まれた。一七歳まで坂下で育ち一八八七（明治二〇）年、共立女子職業学校（現共立女子大）に入学。在学中は学業や裁縫・手芸の習得と共に、跡見玉枝(あとみぎょくし)に日本画を学び「玉蘭(ぎょくらん)」の雅号を与えられた。

女学校時代、瓜生岩子と出会い大きな影響を受け、卒業後一九七三（明治二六）年四月、北村モトと女子教育のため若松に会津女子職業学校を創設した。

しかし、瓜生岩子の勧めで波山と婚約し、退職することになった。学校継続にも支障が生じたため若松女学校を創設した海老名リンに職業学校の移譲を依頼した。リンはこれを承諾して若松女学校に合併し、一九八五（明治二八）年、校名を私立会津女学校と改めた。以後、同校は市立、県立と移管され会津女子高校、現在は県立葵高校となった。

一八九五（明治二八）年、瓜生岩子を媒酌とし、結婚。一九〇一（明治三四）年春、二人の子供を連れて坂下に帰った。

理由は、三人目の出産のためと、波山の陶芸修行の妨げにならないようにとの心づかいであったという。坂下では七〇余人の子女を集めて裁縫塾を経営した。

一九〇三（明治三七）年波山が東京高等工業学校窯業科嘱託として帰京し、翌春にはまると子供達も上京した。それから本格的な陶芸製作を開始したが、同時に貧乏のどん底の生活となった。

一九〇七（明治四〇）年には波山の作品が東京勧業博覧会に入賞したが、なお家計は苦しく、生活のため食器などを作り、まるが売り捌いた。五男一女の養育と、波山の製作を助けるまるの日常はまさに超人的といえる。

波山は一九一一（明治四四）年東京勧業博覧会委員となり、同年夏、まると共に皇居に召されて、御前製作を行い、名声を不動のものにした。

大正初年、まるもまた陶芸作品に画才を発揮、イタリア製陶の流れをくむマジョリカの作品に下絵を描き、波山と共同制作し、初めて雅号玉蘭をサインした作品を世に出している。

波山は多くの優れた作品を発表し、一九五三（昭和二八）年文化勲章を受章した。

まるは、一九五八（昭和三三）年に八九歳の生涯を閉じ、五年後には波山も九二歳で逝去した。

薫光彩磁鸚鵡唐草彫嵌模様花瓶(ほうこうさいじおうむからくさちょうがんもようかびん)
大正３年(1914)出光美術館蔵

花瓶を作成中の波山
昭和20年代頃

波山による「まる」のエピソード

ある日、本郷の切り通しを歩いていると、袴をつけた女学生が日傘をたたんで荷物の後押しをするのを見かけた。この娘さんは、やむにやまれぬ親切心でしていたことは言うまでもない。ああいう人なら、意志が強いに決っているから、貧乏覚悟の自分のところにもきてくれるのではないか。

「私の履歴書」『日本経済新聞』
1974年５月２日

捨てる前にもう一度確認を！

《プラスチック製容器包装の分別》

ごみの減量化に向け、分別やマイバスケット等の持参による環境にやさしい取組みにご協力をいただきありがとうございます。

資源物は缶やビン、ペットボトル、雑がみや紙パック、プラスチック製容器包装などの品目ごとに分別をお願いしていますが、なかには汚れのあるものや指定以外の異物が混入している場合があり、せっかく分別したものがリサイクルできません。

このマークがついているものを分別します。

・家庭では

プラスチック製の容器や包装を分別します。
汚れているものは、水ですすいでから出してください。
カレンダーの［資源］及び［プラ］の収集日に
透明な袋に入れて出してください。

・町では

家庭から出たプラスチック製の容器や包装の収集を行います。
会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターで、回収したものの中から異物を取り除き、一定の大きさのかたまり（ベール）に圧縮した上で保管します。

【プラスチック製容器包装の処理の流れ】

処理施設に搬入

手選別による異物の除去

梱包されたベール

リサイクル工場でさらに異物の除去、破砕などをし、もう一度原材料等として使用できる製品をつくります。
（例）擬木等

プラスチック製容器包装の中には、このような異物が混入されています。

異物とは？

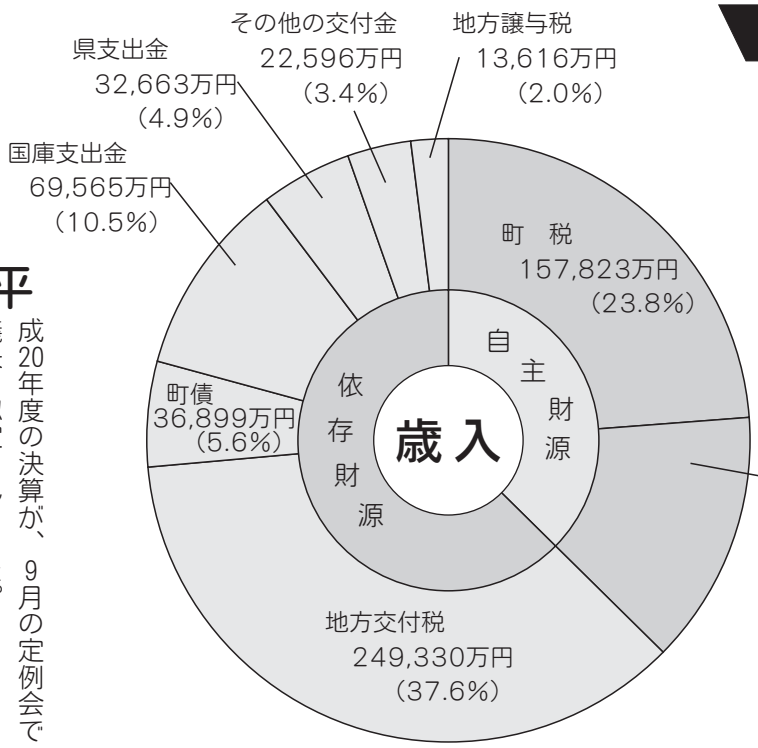
ペットボトル、牛乳パック、汚れているビニール袋やトレー、中身が入ったままのケチャップやマヨネーズの容器、洗剤用のスプーン、硬質プラスチックのザルやバケツ…

その他に マークのついていないプラスチック製品

混ぜればごみ、分ければ資源
捨てる前にもう一度確認を！

戸籍環境班　TEL 84－1500

町民が夢と希望の持てるまちづくりを進めます。



歳入総額

66億3,499万円

（普通会計）

- 繰越金 22,948万円(3.5%)
- 繰入金 13,526万円(2.0%)
- 使用料及び手数料 20,242万円(3.0%)
- 諸収入 17,273万円(2.6%)
- 財産収入 1,233万円(0.2%)
- 分担金及び負担金 5,434万円(0.8%)
- 寄附金 351万円(0.1%)

平成20年度の決算が、9月の定例会で議決・認定されました。

昨年度の普通会計に入ってきたお金（歳入）は、66億3、499万円、支払ったお金（歳出）は、62億9、694万円になりました。

【　】は町民1人当たりの金額　人口17,743人（H20. 10. 1現在）

土木費

道路、橋の整備に

75,080万円

（11.9%）

【42,315円】

主な内容

- 坂下東第一地区土地区画整理事業 27,424万円
- 公共下水道事業へ繰出 9,876万円
- 除雪及び雪対策経費 5,471万円
- 中岩田住宅建替事業 4,566万円
- 町道水原線など道路新設改良 3,791万円

総務費

一般的な事務に

76,521万円

（12.2%）

【43,127円】

主な内容

- 電算管理費 7,600万円
- 市町村生活バス路線運行 1,886万円
- 住民基本台帳・戸籍システム 1,589万円
- 地方税電子申告支援・年金特別徴収システム 1,134万円
- まちづくりセンター運営 158万円

教育費

学校、社会教育の充実に

79,867万円

（12.7%）

【45,013円】

主な内容

- 学校給食費 16,966万円
- 幼稚園費 12,413万円
- 小学校費 9,240万円
- 中学校費 6,800万円
- 埋蔵文化財発掘調査費 2,760万円
- 自主公民館事業 2,499万円

民生費

福祉増進のために

148,805万円

（23.6%）

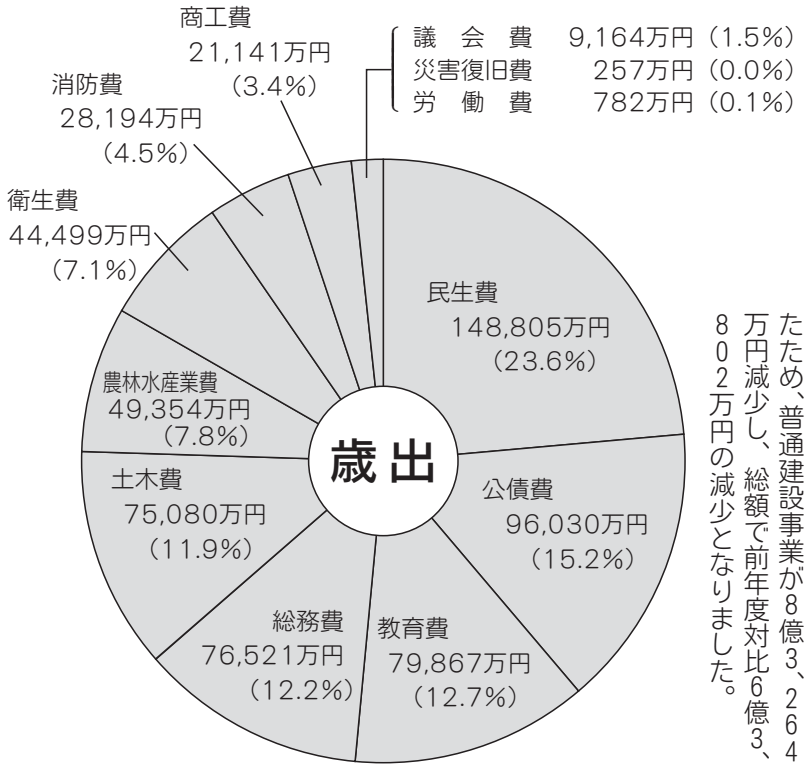
【83,867円】

主な内容

- 定額給付金・子育て応援特別手当 25,466万円
- 介護保険へ繰出 21,688万円
- 障がい者福祉 14,777万円
- 国民健康保険へ繰出 13,754万円
- 児童手当 12,996万円

労働費 782万円（0.1%）　災害復旧費 257万円（0.0%）　【5,750円】

平成20年度　決算の状況



歳出総額

62億9,694万円

（普通会計）

【歳入】

世界的な同時不況に伴う国の経済対策により生活対策臨時交付金や定額給付金など、国からの支出金は前年度比7、765万円増加しました。しかし前年度と比べ大規模な建設事業が減少したため町債の発行が大幅に減少、また地方交付税が錯誤措置に伴い減額となり、総額で前年比5億2、945万円の減少となりました。

【歳出】

定額給付金などにより補助費等は2億2、899万円増加しましたが、20年度は大規模な建設事業を実施しなかったため、普通建設事業が8億3、264万円減少し、総額で前年度対比6億3、802万円の減少となりました。

目的別歳出　総額629,694万円（100%）【354,897円】

商工費

商工業の振興に

21,141万円（3.4%）

【11,916円】

主な内容

- 温泉施設管理経費 9,522万円
- 商工業者への貸付預託 4,000万円
- 観光物産協会補助 2,015万円
- 商工会運営費 614万円
- 商業まちづくり基本構想策定 189万円

消防費

消防組織の整備に

28,194万円（4.5%）

【15,890円】

主な内容

- 常備消防負担金 22,416万円
- 団員報酬 1,986万円
- 分団運営費 590万円
- 消防施設費 402万円

衛生費

清掃、予防衛生に

44,499万円（7.1%）

【25,080円】

主な内容

- 環境センター（ごみ処理）負担金 10,015万円
- 一般廃棄物資源物処理業務 4,563万円
- 疾病予防対策 4,562万円
- 斎苑管理運営費 2,515万円
- 合併処理浄化槽設置 1,840万円

農林水産業費

農林業振興に

49,354万円（7.8%）

【27,816円】

主な内容

- 国営かんがい排水事業 10,571万円
- 農業集落排水事業繰出 3,432万円
- 農地水環境保全地域協議会 3,315万円
- 中山間地域等直接支払 2,437万円
- 水田農業構造改革地域調整推進 1,110万円

公債費 96,030万円（15.2%）【54,123円】　　**その他　議会費 9,164万円（1.5%）**

〔 〕内の数値は19年度決算

普通会計	町民１人当たりに使われたお金	町民１人当たりが納めた税金	１世帯当たりの税金
	354,897円〔388,600円〕	88,949円〔87,516円〕	291,079円〔289,546円〕

【算出根拠】歳出 62億9,694万円　納付税額 15億7,823万円　人口 17,743人　世帯 5,422戸（H20. 10. 1）

	会計名	歳入	歳出	差引
普通会計	一般会計	66億6,961万円 （うち借換債（※1）等） △2億3,581万円	63億3,364万円 （うち繰上償還等） △2億3,581万円 （うち繰出金）△1億8,070万円	3億3,597万円
	坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	3億8,189万円 （うち繰入金）△1億8,070万円	3億7,981万円	208万円
	計	**66億3,499万円**	**62億9,694万円**	**3億3,805万円** （うち繰越明許費（※2）） **1億2,781万円**

※1　借換債とは、利率の高い地方債を低利に借り換えるために発行した地方債です。

※2　繰越明許費の主なものとして、国の生活対策臨時交付金による「坂下南幹線歩道照明設置」や「ばんげひがし公園駐車場整備」などがあります。

	会計名	歳入	歳出	差引
特別会計等	国民健康保険	20億1,789万円	18億4,794万円	1億6,995万円
	老人保健	2億1,688万円	2億1,688万円	
	介護保険	14億5,615万円	13億8,891万円	6,724万円
	後期高齢者医療	1億5,353万円	1億5,314万円	39万円
	下水道事業	2億7,320万円	2億7,320万円	
	農業集落排水事業	1億1,457万円	1億1,457万円	
	水道事業	5億1,983万円	5億1,045万円	938万円
	計	**47億5,205万円**	**45億　509万円**	**2億4,696万円**

特別会計の主な内容

国民健康保険

後期高齢者医療制度の導入により、国保の加入者が減少し昨年度より保険給付費の支払が1億1、071万円減額となりました。国保特別会計は皆さんが納めた大切な国保税で運営されています。

老人保健

今年度は後期高齢者医療制度への移行に伴い、本特別会計の整理期間としての予算執行となりました。

介護保険

介護保険制度への理解も深まり、介護サービスを利用される町民の方も増加しております。介護予防に重点をおく地域支援事業をさらに推進しています。

後期高齢者医療

現役世代と高齢者世代の負担を明確化し、公平で分かりやすい制度とするため75歳以上の高齢者を対象に、独立した医療制度としてスタートしました。

現役世代が高齢者世代を支えるとともに、高齢者世代も保険料と医療費の一部を負担していく支え合いの制度です。

坂下東第一地区土地区画整理事業

本年度の主な事業は

・家屋移転1件1棟（現年度分）
　7件8棟（繰越明許分）
・都市計画道路築造　22m
・区画道路築造　43m
・整地工事　3、802㎡

を補償・整備しました。

下水道事業

坂下東処理区の古坂下、桜木町地内で延長計473mの管渠（かんきょ）埋設工事を実施しました。また、坂下中央処理区の処理施設及び管渠工事等の実施設計を実施しました。

農業集落排水事業

八日沢処理区で延長99mの管渠埋設及び舗装復旧工事を実施し、事業が完了しました。また真木・津尻処理区は、処理施設建設工事を実施し、平成21年2月より供用開始となり、事業が完了しました。長井処理区は、処理施設及び道路拡幅工事等の実施設計を実施しました。

水道事業

坂下東第一地区土地区画整理事業と下水道事業（坂下東処理区内の管渠埋設工事）にあわせて、配水管の布設及び布設替工事を実施しました。

会津坂下町の財政指標（健全化判断比率）を公表します

地方公共団体財政健全化法に基づく平成20年度決算の健全化判断比率は次のとおりです。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
わが町の比率 〔19年度比率〕 （早期健全化基準）	－ 〔－〕 （15.0）	－ 〔－〕 （20.00）	20.5 〔21.3〕 （25.0）	219.5 〔234.7〕 （350.0）

いずれかが早期健全化基準以上である場合、法で定める「財政健全化計画」を策定しなければなりません。

また、健全化判断基準のうち公営企業（水道事業、下水道事業、農業集落排水事業）の資金不足比率においても該当していません。

○実質赤字比率・・・・
普通会計歳入歳出差引額（次年度繰越額除く）の標準財政規模（町税や地方交付税などを合わせた額）に対する比率。黒字の場合は「－」。

○連結実質赤字比率・・・・
普通会計と公営事業会計（国保会計や水道会計など）の歳入歳出差引額の標準財政規模に対する比率。黒字の場合は「－」

○実質公債費比率・・・・
普通会計の公債費（返済）と公営事業会計・一部事務組合への公債費にあたる負担金を合わせた額の標準財政規模に対する比率。

○将来負担比率・・・・
出資法人（第三セクター等）を含めた普通会計の実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

平成20年度 行財政改革プランの取り組み状況

町では、行財政改革プラン（平成17年度～平成21年度）を策定し、事務事業の改善をはじめ人件費の削減・委託業務の見直し等に取り組んでいます。

下記の表は、平成20年度に実施した改革プラン内容と効果額です。

本年度も実施事項を一部見直しながら継続実施しています。

実施事項		具体的な内容	効果額
○収入を増したもの			
	未利用財産の処分	遊休の公有財産（土地）を売却、また貸付	4,299千円
	町税収納率向上対策	過年度の滞納処分の強化	3,769千円
	新たな財源確保	広報等に広告を掲載、ふるさと納税のＰＲ	2,222千円
○支出を抑えたもの			
	福祉制度改正に伴う手当の見直し	重度心身障害者及び在宅寝たきり老人の介護手当廃止	△9,600千円
	三役給与の削減	町長給与の30%、副町長・教育長給与の15%を削減	△6,705千円
	議員報酬の削減	議員報酬の10%を削減し、議員定数を4名減	△20,422千円
	職員給与の削減	月給・期末・勤勉手当の5%削減	△49,813千円
	職員各手当の削減	管理職手当を50%削減	△3,964千円
		旅費・時間外手当を削減	△17,970千円
	非常勤特別職報酬の削減	各種委員の報酬を5%削減	△5,420千円
	職員定数の削減	7名の退職者に対し、新規採用を2名	△55,215千円
	臨時職員の雇用見直し	保育士など有資格者以外の雇用について削減	△22,849千円
	委託料の見直し	庁舎清掃や施設管理などの委託料を削減	△48,480千円
		基本検診の一部を受診者の負担	△2,952千円
	入札制度の見直し	制限付一般競争入札の導入により落札率を抑える	△4,090千円
	補助金の見直し	各種団体等への補助金を10%削減	△23,412千円
	消防団員の削減	団員数の見直しにより50人削減	△1,150千円
平成20年度の効果額合計（参考：19年度効果額合計　272,369千円）			282,332千円

▼問い合わせ先　政策財務部　行政経営班　TEL 84－1532（内線312）